

各分野におけるローマ字の取扱いの例

- ・ 各省庁(所管事業者を含む。)においては、一般原則と異なる取扱いが行われている。
- ・ 改定に伴う混乱や社会的コストにも留意することが必要。

○ 撥音の「n」と、「y」や母音の間をハイフンとするもの

- ・ 国土交通省

国土地理院：地名等の英語表記規程、地名の英語表記、地名集、多言語表記による図式

海上保安庁：水路図、航空図誌

観光庁：観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン

○ B, M, P の前の撥音「ん」を「M」とするもの

- ・ 外務省：旅券
- ・ 東京メトロの駅名表示

○ B, M, P の前の撥音「ん」に「M」を用いてもよいとするもの

- ・ 国土交通省

観光庁：観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン

○ 「ch」の前の促音を「t」とするもの

- ・ 国土交通省：道路標識

国土地理院：地名等の英語表記規程、地名の英語表記、地名集、多言語表記による図式

海上保安庁：水路図、航空図誌

観光庁：観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン

- ・ 外務省：旅券
- ・ 東京メトロの駅名表示

○ 長音符号を使わないとするもの

- ・ 国土交通省：道路標識

海上保安庁：水路図、航空図誌

国土地理院：地名等の英語表記規程、地名の英語表記、地名集、多言語表記による図式

(「イ列長音は、「i」を重ねて表し、「えい」は「ei」と書く)

- ・ 外務省：旅券
- ・ 東京メトロの駅名表示

※ 長音符号を使う際にマクロン「 $\bar{}$ 」を使用するもの

- ・ 文部科学省

国立文化財機構：東京国立博物館の英訳、奈良文化財研究所の英文テキスト

- ・ 国土交通省

観光庁：観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン

(「母音字の上に「 $\bar{}$ 」(長音符標)をつけて表すことができる)

○ 特殊音を例示

- ・ 国土交通省

国土地理院：地名等の英語表記規程、地名の英語表記、多言語表記による図式

- ・ 外務省：旅券

(上記は、文化庁国語課において把握し得たものを掲載)